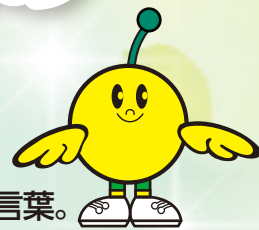


# 「福島県2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて



エコたん



最近、テレビや新聞などでよく目にする「カーボンニュートラル」という言葉。

まだまだよく分からない「カーボンニュートラル」について、2050年度の実現に向けた県の取り組みなどを紹介します。

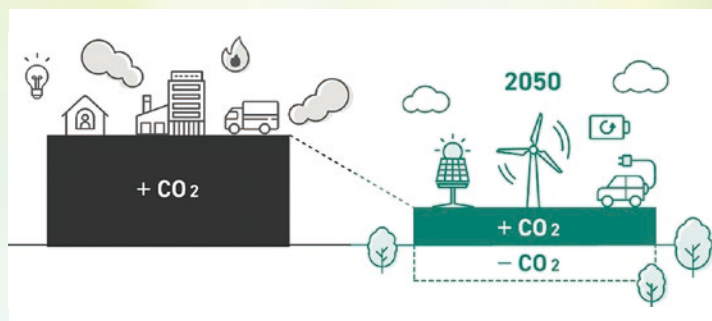
## カーボンニュートラルとは？

人の活動により排出される二酸化炭素をはじめとする「温室効果ガス」の排出量と「森林による吸収量」を同じにする事です。

- ① 県民総ぐるみの「省エネルギー対策」の徹底
  - ② 「再生可能エネルギー」などの最大限の活用
  - ③ 二酸化炭素吸収源対策の強化および森林の保全
- の大きく3つの取り組みが必要となります。

## 実現に向けた県内の現状は？

本県の「温室効果ガス」の排出量は、2018年度で1680万トンありました。2050年度のカーボンニュートラル実現に向けては、今より1550万トン以上の大幅な削減が必要となります。この量は東京ドーム約6500個分の体積となります。



(出典) 環境省 脱炭素ポータル

## カーボンニュートラル 実現に向けた県の取り組み

### ① 「福島県環境アプリ」の運用

こまめに不要な電気を消すなど、身近なエコにつながる取り組みでポイントがゲットできます。

貯まったポイントで、「福島県産牛」などの県産品が当たる抽選に応募することができます。



### ② ふくしまゼロカーボンDAY!

楽しみながら学べるたくさんコンテンツを通じて、地球温暖化対策を身近に感じてもらい、県民総ぐるみの取り組みを推進するイベントです。

今年も再生可能エネルギー関連の展示・商談イベントである「ふくしま再生可能エネルギーフェア (REIFF ふくしま)」と連携して10月13日(木)〜15日(土)に、ビッグパレットふくしまにて開催予定です。



昨年のイベントの様子  
井上咲楽さんに来場いただきました!

# 地道な活動の継続で 2050年カーボンニュートラルの実現を！

県で実施している※「福島議定書」事業の製造業部門において令和3年度最優秀賞を受賞したアルパインマニユファクチャリング株式会社の紺野さんにお話を伺いました。



アルパイン  
マニユファクチャリング株式会社  
代表取締役社長  
紺野 雅彦さん（いわき市）

## 継続した環境活動に取り組み ため参加した「福島議定書」事業

環境への取り組みは経営課題の一つということで、元々、会社として取り組んでいました。自分たちだけでやるより、福島県の戦略の中での活動として参加することで継続できる活動にしたいという思いで参加しています。

業種ごとの参加ができることで敷居も高くなり、同業他社の取り

組みを知る機会が得られました。また、最優秀賞に輝き表彰を受けたことは、成果が認められたと感じる貴重な機会となりました。

## 社員のアイデアを取り入れた 環境推進活動

活動の8〜9割はどこもやっているような地道な活動をコツコツとやっています。

今年は、広い会議室の机の上に全ての工場から出る廃棄物を並べ、社員みんなで、「これは何かに使えないか」や「どうやったら削減できるか」のアイデア出しを行う活動を新たに始めました。

こうした社員からのアイデアを取り入れた環境推進活動を推進しているのが特徴的な取り組み

みと感じています。

「省エネ」や「廃棄物削減」という環境に配慮する活動は、企業活動においても、製造コストを下げて、収益向上につながるの  
で、今後も力を入れて取り組み、当社親会社のアルプスアルパイン(株)の目標である2030年再生可能エネルギー100%化(RE100)と2050年カーボンニュートラル実現に向けて貢献していきたいです。



社内で取り組んでいるアイデア会議の様子。  
※今年度からは「ふくしまゼロカーボン宣言事業」

より参加しやすく  
リニューアル

## ふくしまゼロカーボン宣言事業 (旧：「福島議定書」事業)

「事業所」や「学校」が、2050年度までのカーボンニュートラルの実現を目指し、温暖化対策の実施を宣言する事業で、昨年度まで実施していた「福島議定書」事業をリニューアルしたものです。

令和3年度は、354校、1,814事業所の参加があり、約2,400世帯の1年分の排出量に相当する約9,500トンの二酸化炭素が削減されたと推計しています。

ふくしまゼロカーボン宣言

検索

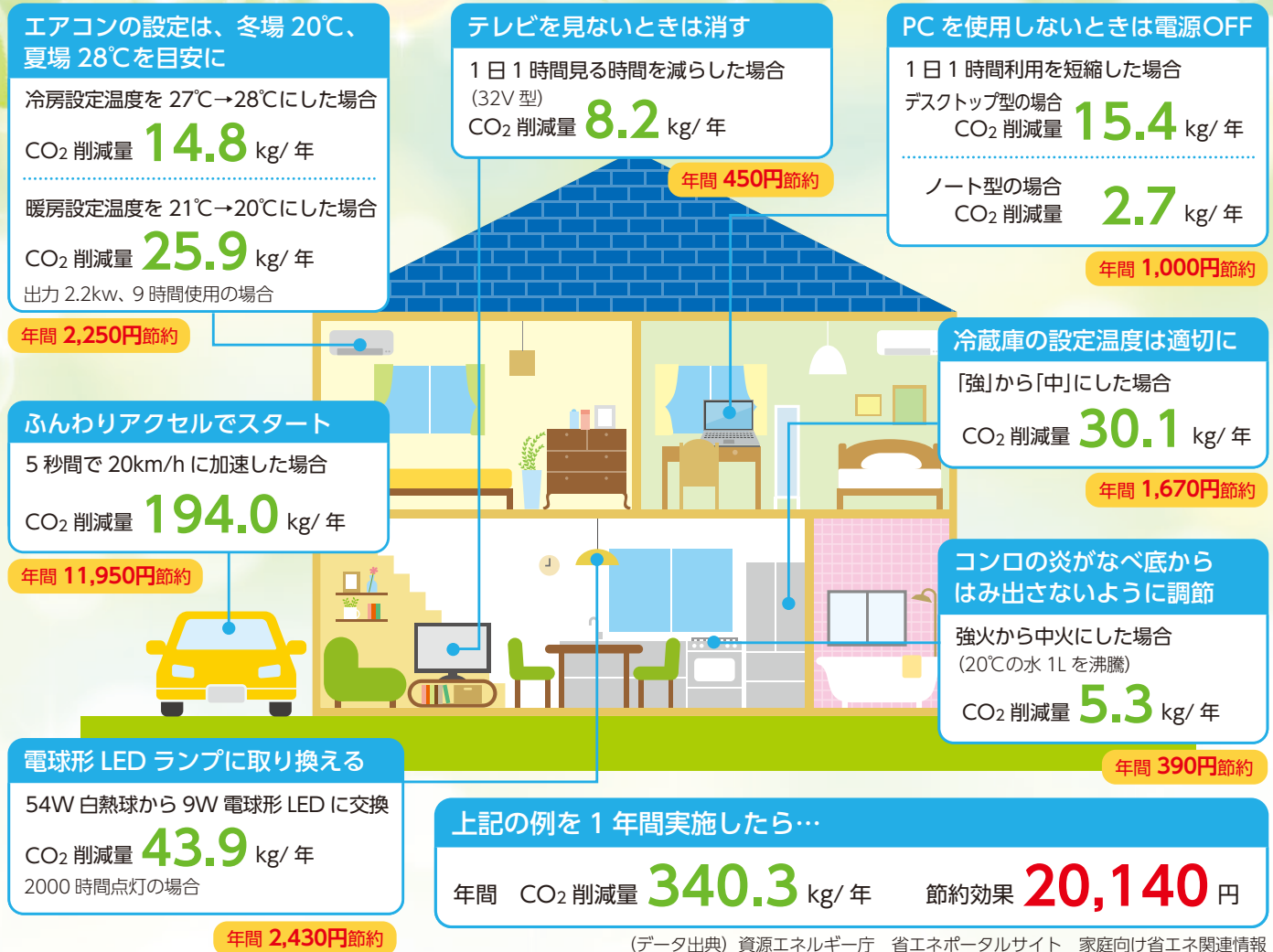
関東庁環境共生課 ☎024(521)7813



令和3年度「福島議定書」事業の「小学校部門」で最優秀賞に輝いた只見町立朝日小学校では、全校生徒で地球温暖化対策に取り組みました。

# カーボンニュートラル実現に向けて私たちができることは？

身近なところで実践できる省エネ・節電の取り組みを紹介します。  
より良い未来のために、一人一人が今できることから始めませんか？



(データ出典) 資源エネルギー庁 省エネポータルサイト 家庭向け省エネ関連情報

## 福島県 2050 年 カーボン ニュートラル ロードマップ

2050年度のカーボンニュートラルの実現に向けて、「だれが」、「いつまでに」、「何をやる必要があるのか」を示したものです。

2013年度の温室効果ガス排出量と比べて、2030年度に50%削減、2040年度には75%削減し、2050年度にはカーボンニュートラル実現となる道筋です。

詳しくはこちら

[福島県2050年カーボンニュートラルロードマップ](#)

検索

圏県庁環境共生課 ☎024(521)7813

## 知事メッセージ

Message

一人一人の取り組みで  
2050年カーボン  
ニュートラルの実現へ

福島県知事 内堀 雅雄



県では、環境にやさしい循環型社会を形成するため、昨年「福島県2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。この実現には、環境と調和・共生した持続可能な地域づくりが求められ、あらゆる主体が自分事として脱炭素社会を実現することの必要性を認識し、全県一体となった取組を着実に実践していくことが重要となります。

県としては、全県的な意識の醸成と推進体制の強化に取り組むとともに、家庭や事業所等での実効性ある取組を積極的に支援するなど、関係機関等と連携しながら、全庁一丸となって実現を目指してまいります。